

ヒマラヤの青 六甲高山植物園

六甲高山植物園（神戸市灘区六甲山町）で「ヒマラヤの青いケシ」が咲き始め

宝石のような澄んだ青色を輝かせている。

ケシ科で「ブルーポピー」とも呼ばれ、1990年に大阪で開催された「国際花と緑の博覧会」で知られるようになった。栽培が難しく、屋外展示は同園が西日本唯一という。

昨年の1・5倍となる約1500株が植えられ、現在は80株ほどが開花。1株に花が3輪ずつ咲く。

同園広報の糟谷絹衣さん（24）は「花卉の青と中央部の黄色の対比がとても美しい」と話す。見ごろは5月下旬。6月中旬まで観賞できる。同園 ☎078・891・1247（秋山亮太）

澄んだ青色が新緑に映える「ヒマラヤの青いケシ」
11月14日午後、六甲高山植物園